

特集 IV

プロポリス

神経線維腫症や認知症などへの有効性を示唆

シクロケム(東京都中央区、☎03・60262・1511)は、2019年に「コサナ・ニュージーランド」を設立し、NZ産プロポリスの原料供給に注力している。

シクロケム(東京都中央区、☎03・60262・1511)は、2019年に「コサナ・ニュージーランド」を設立し、NZ産プロポリスの原料供給に注力している。

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、☎03・60262・1511)は、2019年に「コサナ・ニュージーランド」を設立し、NZ産プロポリスの原料供給に注力している。

シクロケム(東京都中央区、☎03・60262・1511)は、2019年に「コサナ・ニュージーランド」を設立し、NZ産プロポリスの原料供給に注力している。

分化誘導作用を持つことも分かっており、産業技術総合研究所との共同研究では、ポジティブコントロールであるビタミンA(レチノイン酸)の約3倍に及ぶ神経細胞の分化誘導作用が認められた。

同社では、CAPEを10g当たり30mg以上で規格した「NZCAPE30」および、同素材をγシクロデキストリンで包接し、CAPEの安定性・吸収性を高めた「NZプロポリスCD」の2種類をラインアップ。優れた機能性が評価され、原料供給の引き合いが増えているという。

実際に、神経変性疾患を誘発させたマウスを用いた試験では「NZプロポリスCD」摂取群の方が包接していないCAPEを摂取した群よりも記憶力の顕著な回復が見られている。

CAPEの機能性に関しては、新型コロナウイルスに対する有効性も示唆されていることから、同社としても引き続き機能性の究明に注力していく方針だ。